教科目標

医療専門課程
薬業科（昼間２年制）

養成目的

現代社会は健康維持・増進、疾病予防の時代であり、医薬・化粧品業界においては医薬・化粧品の開発・品質管理から生産、店頭での医薬品販売、調剤補助・化粧品販売に至るまで「心と身体」の両面の健康を支える幅広い人材が必要である。そのため、医薬・化粧品の業界で必要とされる技術職、サービス職、各種アドバイザー（医薬品、健康、美容）職を志望する者を育成し、専門分野の人材を養成する。

教育目的（ミッション）

国民の健康維持・増進を図るため、医薬品・化粧品・食品に関しては、安全性と有効性を確保・実践することが最も重要である。そのため、医薬・化粧品専門職として、薬・化粧品の専門知識・技術を身につけ、関連分野の専門従事者とも連携をはかり、新しい情報に精通した職業人を育成することを目標としている。

１．販売専攻（医薬品販売コース/化粧品販売コース）
登録販売者の資格を取得し業界で活躍できる人材を育成するため、医薬品・漢方薬・化粧品に関する知識を修得し、健康に関する専門的指導やアドバイス技能を修得する。さらに実務を経験し、店舗経営のマネジメント能力などを備えた人材を育成する。

２．分析専攻（医薬品開発コース/化粧品プロデュースコース）
医薬品・化粧品・食品の安全性、有効性の確保・維持という観点から、機器分析、微生物試験、品質管理（ＧＭＰ）、食品安全管理方法（ＨＡＣＣＰ）等に関する専門的知識と技術・技能を兼ね備えた人材を育成する。

養成目標（到達目標）

本学科では２年間で医薬品・化粧品業界において漢方薬を含む医薬品・化粧品の専門家を育成し、それぞれの専門職で就職し、職業人として幅広い視野で活躍する人材を養成することを目標とする。

取得目標資格

１．登録販売者資格（都道府県認定）
２．毒物劇物取扱責任者（国家資格）
３．危険物取扱者（乙種、甲種）（国家資格）
４．調剤報酬請求事務専門士
５．アロマテラピー検定
６．ニュース時事能力検定
７．サービス接遇実務検定
８．品質管理検定
９．Azure AI Fundamentals(AI-900)
１０．日本化粧品検定

就職分野

薬局・薬店・ドラッグストア・調剤薬局、漢方関連会社、化粧品販売店、ビューティサロン、製薬会社、化粧品・香粧品関連会社、薬品卸・商社、加工食品製造企業など。

職種

薬局・薬店経営（登録販売者）、調剤薬局スタッフ、医薬営業担当者（ＭＳ）、健康アドバイザー、美容部員（化粧品販売スタッフ）、医薬・化粧品品質管理職、医薬・化粧品製造職、医薬・化粧品研究スタッフなど。